



Kagawa Cyber Security Information

香川県サイバーセキュリティ連絡ネットワーク通信 Vol. 13

サイバー犯罪の現状について

情報通信技術の急速な発展に伴って利便性が高まる一方で、不正アクセスやウイルス感染による県民の財産を狙った悪質・巧妙なサイバー犯罪が年々増加しており、県民生活への脅威は今後ますます深刻化することが予想されるところです。

今回は、サイバー空間を巡る脅威を認識して頂くために、サイバー犯罪に関する件数などをご紹介します。

1 検挙件数

罪名 \ 年		H24	H25	H26	H27	H28上	H28
全 国	不正アクセス禁止法違反	543	980	364	373	285	
	コンピュータ・電磁的記録対象犯罪	178	478	192	240	222	
	ネットワーク利用犯罪	6,613	6,655	7,349	7,483	3,740	
	合計	7,334	8,113	7,905	8,096	4,247	
香 川 県	不正アクセス禁止法違反	3	3	5	1	1	5
	コンピュータ・電磁的記録対象犯罪	4	5	8	6	0	0
	ネットワーク利用犯罪	79	82	70	119	87	140
	合計	86	90	83	126	88	145

※ 警察では、サイバー犯罪を

- ①不正アクセス禁止法違反：他人のID・パスワードを無断入力してネットワークを利用する行為（例：インターネットバンキング不正送金事犯など）
- ②コンピュータ・電磁的記録対象犯罪：サーバ等を実行行為の客体とする罪（例：ウイルス添付の電子メールを送信する標的型メール攻撃など）
- ③ネットワーク利用犯罪：犯罪の構成要件に該当する行為についてインターネット等を利用した犯罪（例：ネットオークションなどの商取引を装った詐欺など）

の3類型に分類しています。

2 主な検挙事例

- (1) 女性のスマートフォンに無断で遠隔操作アプリをインストールし、位置情報や通信履歴等を取得していた男性を不正指令電磁的記録供用罪で検挙しました（H27）。
- (2) ファイル共有ソフト利用にかかる児童ポルノ事犯の集中取締りを実施し、平成27年中に児童ポルノ公然陳列等により被疑者6人を検挙しました（H27）。
- (3) 携帯電話機から他人のID・パスワードを使用してSNSサイトから退会させた男女2人を、不正アクセス禁止法違反等で検挙しました（H26）。

3 相談件数

(1) 全国

	H24	H25	H26	H27	H28上
詐欺・悪質商法に関する相談 (オークション除く)	29,113	36,237	58,340	67,026	34,161
迷惑メールに関する相談	12,946	10,682	14,185	16,634	7,887
名誉毀損・誹謗中傷等に関する相談	10,807	9,425	9,757	10,398	5,480
不正アクセス等、コンピュータ・ウイルスに関する相談	4,803	6,220	9,550	7,089	4,170
インターネットオークション	4,848	5,950	6,545	6,274	2,939
違法・有害情報に関する相談	3,199	3,132	5,080	4,854	4,035
その他	12,099	13,217	14,643	15,822	8,067
合計	77,815	84,863	118,100	128,097	66,739

(2) 香川県

	H24	H25	H26	H27	H28
詐欺・悪質商法に関する相談 (オークション除く)	185	224	437	476	422
迷惑メールに関する相談	107	111	204	244	176
名誉毀損・誹謗中傷等に関する相談	95	77	100	133	92
不正アクセス等、コンピュータ・ウイルスに関する相談	24	48	88	68	68
インターネットオークション	26	38	40	41	49
違法・有害情報に関する相談	21	16	25	93	47
その他	111	120	137	130	125
合計	569	634	1,031	1,185	979

4 特徴

- (1) 事件検挙件数は、全国・香川県ともに年々増加傾向にあり、サイバー犯罪の定義3類型のうち、ネットワーク利用犯罪が大半を占めています。
- (2) 相談件数も概ね増加傾向にあり、詐欺・悪質商法に関する相談が約半数を占めています。